

O.S.P

OSPREY SPIRITUAL PERFORMER

JOURNAL

Vol.27 June 2019

FREE

ご自由に
お持ち帰りください。



水面へ誘う

Field Jam

夏の紫外線から身体を守る
UVプロテクトグッズ

A MAN NAMED

斉藤 真也

シチュエーションで使い分けるPopper&Frog

折金 一樹

スピントールフロッグを使いこなす

竹内 一浩×利根川水系



Osprey Spiritual Performer

操って釣るルアーの楽しさを

トップウォーターには大きく分けて2つのタイプがあります。1つはリールを巻いて動かすバジnkランクやゼロワンバズのようなタイプ。もう1つはロッドワークで動かす——ルアーを動かした分だけラインがたるんで、それを巻き取ってのくり返しにより操るタイプです。

どのように動かせばバスの興味をひけるのか? バイトまで持ちこめるのか? 自分で思い通りにルアーを操るところから、釣れるまでの過程までがダイレクトにわかる、とても面白いジャンルのゲームですね。

沈むタイプのルアー、たとえばジャークベイトなどですと水中でどのようなアクションをしているか確認しにくく想像の世界になりがちですが、水面に浮くルアーだと目で確認しながら動かせますのでロッドワークの上達も早くなるはず。寄ってくるバスやバイトシーンも目で追えるので、ある意味でいえば簡単なジャンルとも言えるでしょう。

今回紹介するラウダーやフロッグシリーズは、ちょっとしたコツを掴むだけで誰でも簡単に動かせるようになるルアーなので、まずは「トップは難しい」という先入観を捨て、上達につながるコツを掴んでいただければと思います。

ポッパーとフロッグの使い分け

O. S. Pには3タイプのフロッグがあります。ダイビングフロッグは前方のカップ部分が水を受けて水中へと潜ったり、力加減によってはターンやポップ音など多彩なアクションを得意とします。

スケーティングフロッグはその名の通りスケーティングアクションを得意とし、3つの中でもっともスナッグレス性能が高いタイプ。

スピンテールフロッグは首振りアクションを得意としつつもブレードの効果によって独特のスプラッシュを出したり、ただ巻きでもアピールしたりといった幅広い場面で使えるタイプですね。

ポッパーのラウダーシリーズは3サイズがラインナップされていますが、それぞれの特徴については右下の囲みをご覧ください。

おおまかな使い分けとしては引っかかるモノがあるか、ないかで考えるのがわかりやすいと思います。オープンウォーターならポッパーを。リリーパッドなどで水面が覆われた場所ではフロッグを。ソフトボディの出す着水音や波動を必要とする場合などで、あえてオープンウォーターでフロッグを使うケースもあるのですが、まずはあまり難しく考えずにスナッグレス性能だけ考えて使い分ければ十分ですよ!

どんな場所?どんなタイミング?

まず最初に覚えるべきことはロッドワークのコツですが、短い距離の中でクイックにアクションさせるのが効果的。ラインが張ってルアーにチカラが伝わった瞬間には、もうロッドティップを戻しているぐらいの気持ちでいいと思います。引っ張りっぱなしではなく、ラインだけを弾くようなイメージとお考えください。あとは練習あるのみなので、いくつか具体的なシチュエーションを紹介しておきましょう。

千葉県の人気リザーバーである亀山湖を例に挙げると、やはりある程度は天気の子カラも借りたほうが釣りやすいと思います。晴天無風よりは、どんより曇っていたり小雨が降っているような日ですね。

この時期になるとアオヤロウと呼ばれる浮き草が猪川近辺に出てきます。非常に細かい浮き草なのですが、他のトップウォータールアーでは非常に攻めづらいシチュエーションになるので、水面はフロッグの独壇場と言えるでしょう。また、オーバーハングの奥に浮きゴミが絡むような場所もフロッグが有効です。

オープンウォーターに出てくるバスはエサを追ってやる気のある状態。広範囲のバスに対してスプラッシュやポップ音でアピールできるラウダーを使ってください。

たとえば朝タマツメに白鳥島のフラット上や長崎沖などで小魚を追っている状態。追われているベイトフィッシュにあわせて沈めて誘いたくなる場所ですが、あえてある程度速い所(これは横方向だけでなく縦方向、つまり水面下でバスのレンジに合わせるのではなく水面にルアーを置くという意味でも)に誘いだすことで、より激しく強いバイトになりフッキング率やキャッチ率も高くすることができます。

ルアーをバスに近付けるのではなく、バスにルアーを見付けさせて追わせる。その中で見切られないようなアクションを出せるロッドワークを身につけましょう。「短くクイックに」を心掛けてくださいね。



LOUDER 50

Length | 50.0mm (2in.) Weight | 4.7g (3/16oz.) Floating
Ring size | #1 Hook size | #10 Price | 1,400円 (税別)

もっとも小さいサイズでありながらもラウダーの特長となる音や飛沫をしっかりと出せてバスを呼びチカラを持っています。広範囲のバスにアピールしつつも、いざバスがルアーを見に来ると小さいシルエットというギャップによりバイトしてしまうはず。

LOUDER 60

Length | 60.0mm (2-1/3in.) Weight | 8.4g (19/64oz.) Floating
Ring size | #2 Hook size | #8 Price | 1,500円 (税別)

60は、おかつぱりで飛距離を出したいときにも有効なルアー。沈むルアーは遠投するとアクションが大雑把になるしアタリも分かりづらいですが、ラウダーはカップの抵抗で移動距離も抑えられるし、しっかりアピールする操作も可能なルアーですね。

LOUDER 70

Length | 70.0mm (2-3/4in.) Weight | 12.0g (7/16oz.) Floating
Ring size | #2 Hook size | #5 Price | 1,600円 (税別)

60と10mmの差とはいえ、しっかり容積がアップしていて飛距離やアピール力は僕の感覚だと2倍ぐらいあると思って使っています。ビッグレイクはもちろん、ルアーの存在感が薄れがちな流れのある川やリザーバーのバックウォーターにもオススメ!

初めてのフロッグゲームならスピンテールフロッグを



O.S.P SPINTAIL FROG

Length | 59.0mm (2-2/5in.) Weight | 11g (3/8oz.) Floating
Price | 1,200円 (税別)

ヘビーカーだけでなくオープンウォーターやオーバーハングなどのライトカバー攻略をも視野において設計されたのがスピンテールフロッグ。ブレードにより、ただ巻きでも安定した姿勢でタイトウォブリングしてバスを誘います。アクションをくわえればキレのよい首振りアクションを簡単に演出。フロントがスリムなボディ形状によりヘビーカーでのすり抜け性能も持ち合わせてますので、多彩なシチュエーションで活躍してくれるでしょう。ナイロンラインなどでも使用可能ですが、最高のアクションとフッキング性能を体感するためには、できればPE系ラインでの使用をおすすめします。



Recommend Movie

ラウダーシリーズ使いこなし特効薬

ラウダーシリーズの使いこなし方について、実釣を交えながら並木敏成が直接指導! この動画を参考に、ぜひラウダーシリーズで興奮必至のサーフェスゲームを楽しんでください。

水面へ誘う

シチュエーションで使い分けるPopper&Frog

ロッドアクションの基本

ラインを張るのは一瞬！ラインスラックをつくろう



アクションさせるルアーで一番重要なのはラインのたるみ。張りっぱなしでは思うようなアクションをさせられません。ルアーの抵抗を感じた瞬間にロッドティップを戻してラインをたるませてください。これはフロッグもポッパーも一緒。ルアーの動きが水面で見えていますので、ジャークベイトなどよりもイメージしやすいはず。ロッドワークで扱うルアーの入門にはトップウォーターがオススメですよ！



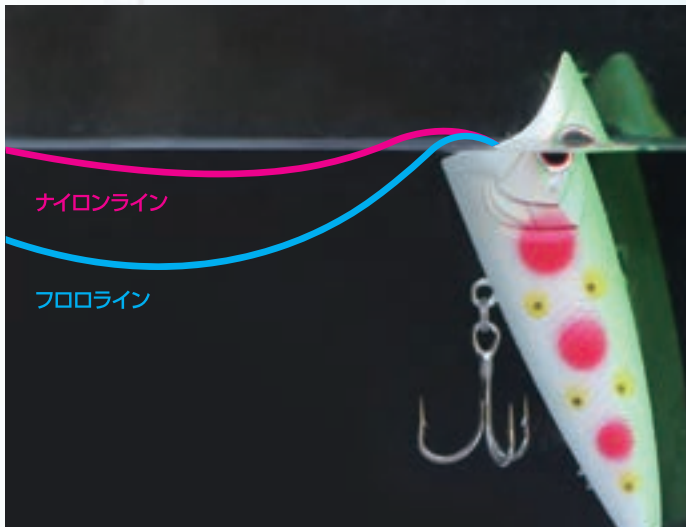
ロッド先端を短く素早く動かしてラインを張る。この時の力加減でルアーの動きが変わる。



ラインが張った瞬間に戻して、たるみを作る。ラインが張るのは一瞬だけになるように！

フロロでも使える汎用性 ～ラウダーシリーズ～

深い所にいるバスを呼ぶなら強めのポップ音 シャローの広範囲からバスを呼ぶならスプラッシュ



一般的に「トップウォーターにはナイロンライン」とされていますが、限られたタックル数の中でルアーを使うとなるとフロロで使わざるを得ないケースも少なくありません。ラウダーはその浮き姿勢とカップの抵抗により、たとえフロロで使ったとしてもラインに引っ張られてスルスルと手前に寄ってくることもありません。また横風などでラインが流されるような場合ではフロロの比重をいかして糸フケを防いで思い通りのトレースラインをアクションさせることも可能です。

ナイロンと比べると若干下方向へ向かって引かれるので、それを踏まえてアクションの強さを変えるのがコツ。少し長めのストロークではスプラッシュを、短めに強く動かすとポップ音を出してバスを誘います。

竹内一浩 × 利根川水系

スピンテールフロッグを使いこなす ブレードによるアピールで濁り気味の水域でもバスを寄せられる！



トレブルフックのついたルアーでは攻めるのが難しいバンク際もフロッグの出番。ワームでしか狙えないようなオーバーハングやゴミ溜まりの奥まで入れて誘えるトップウォーターはフロッグだけ！



ボトムが見えてしまっているようなシャローでも、ちょっとした沈み物やアシのエグレにバスは潜んでいる。シャローにいるバスはヤル気があることも多いので、手返し良く探るのが大切だ。オープンウォーターでも喰わせられるスピンテールフロッグの活きるシチュエーション。

PROFILE

竹内 一浩

Kazuhiro Takeuchi



2018年TBCプロ部門で年間2位、2016年TBCクラシック優勝など、数々の実績を誇る利根川ジャンキー。自他ともに認める生粋のシャローマン。「シャローオンリー」という単純でありながら奥深いフィッシングスタイルを貫いている。

まだあまりフロッグを使ったことがない方なら、まずはスナッグレス性能を活かす使い方——カバーの奥の奥まで撃ち込む感じで使ってみてください。具体的には岸の手前にシャローフラットがあるようなエリア。水深は30cmよりも浅い所で、バスの背ビレが出るか出ないかのドシャローまで狙います。みなさんが思っている以上に浅い所でバスは入っていますので、そういった所を思い切って攻められるフロッグのメリットを活かすことが大切です。

頭の尖っているスピンテールフロッグやスケーティングフロッグはカバーのすり抜けが非常によく、倒れたアシや浮きゴミなど、トレブルフックの付いたルアーだとしても手返しが悪くなりがちな利根川水系のシャローでもストレスなく手返し良く使えます。つまりはキャスト回数も増え、バスと出会えるチャンスも多くなるということですね。またハードルアーと違って着音が柔らかいので、シャローのバスを怯えさせることなく使えるのもフロッグの利点です。

自分がよく使うのはスピンテールフロッグなのですが、フロッグのボディだけでなくブレードの持つアピール力がバスを呼んでくれることも多く感じられるため、こと濁りの入りやすい利根川水系(印旛水系や霞ヶ浦水系も含めて)では自ずと出番が増えてくるかと思います。

アクションは連続ドッグワーク。ただ巻きでもバイトしてくるのですが、ドッグワークさせてラインがたるんだ瞬間にバイトさせたほうが深く吸い込んでくれますので、深いフッキングと確実なランディングまでを考えるとドッグワークで喰わせるのがいいと思います。

そのためのタックルセッティングとしては、ロッドは6.6フィートぐらいまで。あまり長いとアクションさせにくかったり、キャスト精度も落ちますのでこのぐらいまでがいいと思います。ラインはPE5号を使用しています。フロッグゲームをしたことのない方からすると太く感じるかもしれませんが、ちょっとした枝などに引っ掛かっても強引に回収できるなど多少の無理も利くこの太さがメリットになることの方が多いです。

5月中は、まだバスの吸いこみもそこまで強くないのでラウダーのようなトレブルフックのついたルアーに分がありますが、6月に入ればフロッグの出番。だいたい10月ぐらいまでは楽しめると思います。

いままで見落としていたシャローの奥の奥まで狙っていけば、きっとフロッグでしか釣れないようなバスがバイトしてきてくれると思いますよ！



NEW ARRIVALS

5・6月発売の新製品&新色をご紹介

NEW DOLIVE BEAVER 3" ドライブビーバー 3in.

より喰わせを重視した3インチが新登場

Color | 14 Count | 7 Price | 780円



REASON WHY

なぜ3インチだけカーリーテールなのか？

もともとはカバー撃ち用のアイテムとして開発がスタートしたドライブビーバーですが、アクション出しをしていく中でオープンウォーターでも使える汎用性を持たせるため、スイミングでのバサロアクションなどの、より幅広いシチュエーションで活躍するアイテムへとリファインされていきました。しかし、あくまでも3.5&4インチはすり抜けを重視のカバー向け。ダウンショットリグやキャロライナリグで使いやすいサイズの必要性を感じていらした方も多く、開発を進める中、小さくなった際にアピール感を損なわないためにはツインカーリーテールが最適という結論に至り、カーリーテールがなびきながらもバサロアクションするように設計を進めました。数珠ヒゲと比べてどうしてもカバーに対してはくつきやすくなりますが、それを少しでも軽減するため小さな突起を付けて対応するなど小さなこだわりも詰め込んだドライブビーバー3インチ。バサロアクションとカーリーアクションの融合による多彩な動きは、ハイレッシュャー化により攻略法が多様化する中、オープンウォーターのバスを喰わせる切り札として唯一無二の存在になるでしょう。

NEW DURGA 73 F ドルガ 73 フローティング

フローティングで戦略にアドバンテージを

Length | 73mm Weight | 4.4g Type | Floating Color | 11 Price | 1,650円



ゴーストアユ G01

DOLIVE STICK FAT 4.5" ドライブスティック ファット 4.5in.

Count | 7 Price | 780円



ゴリミソブラック TW195



ワイルドテナガ TW196

YAMATO Jr. ヤマト Jr.

Length | 94.0mm Weight | 18.0g Type | Floating Price | 1,700円



マットワカサギ M91



チャートバックギル DM95

DOLIVE STICK ドライブスティック

Count | 10(3in.)・8(3.5in.)・7(4.5in.)・6(6in.) Price | 780円



しらうお W056

3 3.5 (in.)



ゴリミソブラック TW195

3 3.5 4.5 (in.)



サイトスベシヤルVer.2 TW145

6 (in.)



ワイルドテナガ TW196

4.5 (in.)

DAIBUZZN' HEAVY HITTER ダイバズン ヘビーヒッター

Length | 64mm Weight | 17g Type | Floating Price | 1,800円



マットメタルハス MH90



シグナル P90

COBUZZN' コバズン

Length | 40mm Weight | 7.2g Type | Floating Price | 1,700円



セクシーピンク P43



チャートパープルバック PP81



シグナル P90

RATTLIN' BLITZ MAX ラトリン ブリッツ マックス

Length | 62mm Weight | 14g Type | Hi Floating/Ratlin Price | 1,600円



インパクトホワイト F49



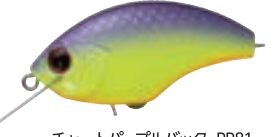
チャートパープルバック PP81

RATTLIN' BLITZ ラトリン ブリッツ

Length | 53mm Weight | 9.5g Type | Floating/Ratlin Price | 1,500円



インパクトホワイト F49



チャートパープルバック PP81

BLITZ MAX DR ブリッツマックス DR

Length | 61mm Weight | 18g Type | Floating Price | 1,600円



マットメタルハス MH90



マットワカサギ M91

LOUDER 70/60/50 ラウダー 70/60/50

Length | 70mm Weight | 12g Type | Floating Price | 1,600円
Length | 60mm Weight | 8.4g Type | Floating Price | 1,500円
Length | 50mm Weight | 4.7g Type | Floating Price | 1,400円



ライムパレット PA93



ミントパレット PA94

※価格はすべて税別です。

Field Jam

スタイリッシュに遊ぶ

陽射し

しを忘れて

夢中になれる



O.S.P UV PROTECT ARM COVER

O.S.P UVプロテクトアームカバー

Size | フリー

Color | ダークグレー、ライトグレー、ブルー、チャコール

Fabric | ポリエステル89%、ポリウレタン11%

Price | 3,000円(税別)

腕の日焼けを防ぐアイテム。速乾性に優れ、通気性やストレッチ性もあるのでフィット感も抜群。接触冷感素材を使用しているので、ヒンヤリとしたクールな着用感になります。組み合わせるウェアによって選べるようカラーラインナップも4色ご用意しました。



ダークグレー

ライトグレー

ブルー

チャコール

O.S.P ACTIVE PANTS

O.S.P アクティブパンツ

Size | M/L/XL/XXL

Color | カーキ、ネイビー、グレー

Fabric | ナイロン90%、ポリウレタン10%

Price | 8,400円(税別)



シャープなシルエットデザインでありながらも、縦横へのストレッチ性に優れた素材を採用することで立体的な動きをしても突っ張り感がなく、しゃがむことの多いフィッシングシーンにおいてもストレスフリーに着こなせ、一度履いたら手放せなくなるパンツです。



カーキ

ネイビー

グレー



斉藤 真也

二度目の夢、ビーバーレイクへの旅



2018年のアメリカンドリームで大石智洋さんとペアを組んで優勝し、ビーバーレイク（アーカンソー州）で開催されたバスキャットオーナーズのトーナメントに参戦してきましたので、その模様をお伝えしたいと思います。

以前も一度優勝してこの大会に参加したことがあったのですが、前回の会場は地形的に危ないエリアも多く、すべてを見てまわることはできませんでした。しかし、今回の会場となったビーバーレイクは広さこそ霞ヶ浦4つ分ほどあるものの見ようと思えば全域をまわるので、思う存分満喫できたのが嬉しかったですね。

時期的にはスポーニング期だったというもあり、プラ初日は上流域、二日目は下流域をチェックしたのですが、キーパーサイズ（ここでは15インチ）ギリギリ届かないサイズはいっぱい釣れるのに、キーパーはなかなか釣れない。アメリカのキーパーって本当に上手くできているんだなというのをしみじみと感じましたね。

試合初日は上流へ向かいます。プラで行ったよりもさらに上流へ行くと3匹のキーパーをキャッチすることができました。ただ、釣り方がハマっているのか、エリアが良かったのかを判断できず、別のエリアをまわってみてもノー感じ。それならばと元の場所にに戻ってみても釣れない。タイミングを当てていくのがアメリカのトーナメントなんだなというのを実感しました。

2日目も初日釣った場所へ向かいましたがキーパーが釣れない。パートナーと相談した結果、エリアを広げるのではなく、さらに釣り込んでいこうということになりやっていくと3匹のキーパーをキャッチできました。

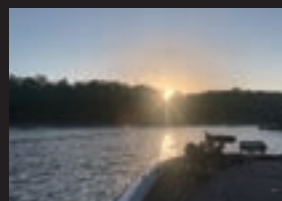
プラではドライブシャッド3、5インチのヘビキャロを使っていたのですが、大会当日は思いつきで投げたドライブSSギルが良かったみたいです。というも、到着した日に7～8件の釣具屋さんを見てまわる時間があったのですが、いわゆるローカルベイトと呼ばれる

ザリガニ系のルアー——ウィグルワートだったりエーキンスジグはいくらでも置いてあるのにギル系ルアーをまったく見掛けなかったのです。アメリカらしいなぁと思いつつも、みんなが使わない系統のルアーってどうなんだろう？と試してみたのが結果的に当たったという感じですかね。あとはシャローをハイピッチャーマックスで流しても釣ることができました。

4日間の釣りを通して感じたこと、それはより釣れる場所探しが重要だという点です。同じような地形をしていても釣れる場所と釣れない場所がはっきりしている。思い描いていたアメリカの釣りそのものを実際に体感することができたのが、とても勉強になりましたし面白かったです。

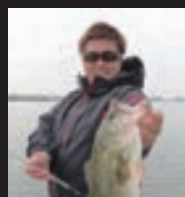
大会では2日間とも3匹ずつとリミットメイク（5匹）はなりませんでした。短いプラ期間でありながらも自分たちの経験から、よくそこまでたどり着けたなというのが全体を通した感想ですね。

自分はアメリカのトーナメントに参戦することはできないのですが、そんな人たちにもその魅力を味わえる機会を与えてくださった桐山孝太郎さん、アメリカンドリームを応援してくださったバスキャット社にこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。アメリカいいなぁと思いましたよ、本当に…。



PROFILE

斉藤 真也 Masaya Saito



亀山や霞ヶ浦水系をホームとし、トーナメントでも数々の戦績を残している。フロッグゲームのイメージが強いが、ライトリグからパワーゲームまでこなすオールラウンダー。釣具店に勤務し、ロードメイキングなども手掛けしている。